平成 25 年度　理学系広域科目「集合と位相第一」

第５回　講義内容

5 月 16 日 (木) の講義では, 以下のような内容を解説しました.

- レポートの回収 (別紙「第 1 回 レポート提出」参照)

§8　集合系の演算

- 部分集合系, ド・モルガンの法則 (一般形)

§9　全射と単射

- 全射・単射・全単射とその例
- A から B への包含写像, A の恒等写像 $1_A : A \to A$
- 全射・単射と写像の合成
- 写像 $f : A \to B$ の逆写像 $f^{-1} : B \to A$ とその存在
- 全射・単射と写像の像・逆像

§10　濃度

- 濃度の相等 (2 つの集合の対等 $A \sim B$)

次回予告　5 月 23 日 (木) の講義では, 「§10 濃度」の続きを解説した後, 「§11 ベルンシュタインの定理と対角線論法」へ進みます.

2013 年 5 月 16 日